



りょう

菱

きょく

旭

階上中学校 学校だより 第15号

令和2年11月18日(水)発行

〒988-0238 気仙沼市長磯中原 125

「自分から進んで」

木の葉が散っていく木々に冬の訪れを感じるこのごろです。保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。また、先日行われた合唱コンクールでは、短い鑑賞時間にもかかわらず、多くの方にご来校いただき重ねて感謝申し上げます。子供たちから聞いているとは思いますが、合唱コンクールについて報告をさせていただきます。プログラムのトップは2年1組の「君とみた海」です。34名という校内一の大所帯のクラスですが、一人一人の気持ちを合わせ、各パートのバランスがよく、厚みのあるすばらしい合唱でした。特に歌詞に出てくる「海よ 海よ 海よ」のハーモニーは感動的で、歌い終わった後の余韻がなんともいえませんでした。次は1年生のステージです。1年生は、合唱をするには一番難しい学年です。声変わりの時期であり、高い音、低い音どちらも定まらず不安定だからです。そんな中、1組の「夢を追いかけて」は、声を張り上げず、無理のない自然な発声で安心して聴ける合唱に仕上げていました。「あきらめない にげださない」と力強く歌い、夢の実現に向けたメッセージが伝わってきました。次は、2組の「Let's Search For Tomorrow」です。タイトルの「Let's search for tomorrow」の部分では、伸び伸びと明るい歌声が響きました。また、「今 旅立とう…」からの語りかけるような歌い方が印象的でした。最後は3年生の合唱です。2組は森山直太郎さんの作品「花の名前」に挑戦しました。一つ一つの花の名前に気持ちを込めるのが難しい曲ですが、見事に歌いきりました。特にソプラノは、輝きのある歌声で表現力豊かに歌い、聴いている私たちは、この曲の世界に引き込まれていきました。最後の1組は「虹」です。2組と同じ森山直太郎さんの作品です。男声の安定した低音に支えられた、豊かな響きのある合唱でした。サビで登場する「僕らの出会いを 誰かが別れと呼んだ」の部分は、日に日に卒業に近づく3年生の思いが伝わってくるものでした。3年生のどちらの合唱も、少ない人数であることを感じさせない迫力のある合唱でした。

合唱に取り組んできたこの期間、校舎には歌声が響き学校は驚くほど創造的な場所になりました。どのクラスも幾度か壁にぶつかりながら、それを乗り越え本番に向かっていました。練習を始めた頃の合唱とは全く違うものです。「仕方なくやる・やらされる」から「自分から進んでやる」ことで、その成果や結果が大きく変わっていくことを体験的に学び、同じ目標に向かって仲間と取り組む楽しさを味わえた1日だったと思います。

さて、11月に入り3年生は自分の進路に向かっていきます。「あなたは中学校を卒業したら、どのような進路を考えていますか」、面接練習でよく聞いている質問です。もし「〇〇高校へ進学したい」という答えであれば、「それはなぜですか」、そして「その高校で何をやりたいのですか」「その高校を卒業したら、どのような進路を考えていますか」と聞いてきました。じっくり話していると、「私は人の役に立ちたいから」「みんなの笑顔を見るのが好きだから」「将来は〇〇になりたいです」と自分はどのような生き方をしたいのか話してくれます。「受験」とは、自分はこれからどのような生き方をしていきたいのか、自分に問い続けていく、その第一歩です。では、どんな生き方をしていくのがよいのでしょうか。私は、自分が幸せになる生き方、そして、人を幸せにする生き方をしてほしいと思っています。だから受験は自分のためであり、人のためでもあると考えています。志望する高校に入ることを目的とせず、さらに先にある夢の実現に向けて、この時期を大切に生活してほしいと思います。先日、2年生で行ったスポーツ心のプロジェクトで武術太極拳元日本代表の市来崎大祐さんは、夢の実現に向けて「覚悟」が大切であると話していました。3年生の中には、受験に向けて努力する覚悟を決めた生徒も出始めました。放課後学習教室へ参加する生徒も増えました。校長室前の学習スペースで時間ぎりぎりまで勉強している生徒もいます。「仕方なくやる・やらされる」を卒業して「自

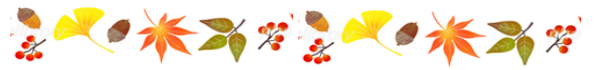
(裏面に続きます)。

分から進んでやる」段階へ進んだ人が増えつつあります。学習に集中できる環境を自分でつくり、計画を立てて実践し、途中で成果を確認しながら学習を進めれば、学力は向上していくはずで。1、2年生も含め「どうしたらもっと学力が伸びるのか」という課題に学級担任や教科担任に相談しながら挑戦してほしいと思います。

県内では、感染者数の増加や学校でのクラスターの発生など高い水準で感染が続いております。今後も、基本的な感染症予防対策や発熱者・体調不良者への対応、差別や偏見などについて考えさせる指導を行ってまいります。ご家庭におきましても、お子様の朝晩の検温や体調の管理をお願いいたします。そして、保護者や地域の方のご協力をいただきながら、たとえ本校の関係者が感染したとしても、感染者やその家族、医療関係者等への不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷等が起きない環境を維持していきたいと考えております。

校長 田中 謙

入賞おめでとうございます！



☆ 宮城県造形作品展 入選 (10月16日審査会)

1年 ()さん 2年 ()くん 3年 ()さん

☆ 花泉バレーボール大会 (10月18日) 優勝 女子バレーボール部

☆ 宮城県読書感想文コンクール (10月29日審査会)

優秀賞 3年 ()さん【全国審査へ】

研究部会長賞 1年 ()くん ()さん 3年 ()さん



☆ 気仙沼市小・中学校図工美術作品展 (11月6日審査会)

市長賞 3年 ()くん

優秀賞 1年 ()さん ()くん

()さん ()さん

2年 ()さん ()さん 3年 ()くん

入選 3年 ()さん



☆ 合唱コンクール (11月7日) 最優秀賞 3年1組 優秀賞 2年1組

最優秀指揮者賞 3年 ()くん 最優秀伴奏者賞 3年 ()さん

読書の秋, 勉強の秋



本校では、生徒一人一人の学力向上を目標に、様々なことに努めています。第一に教職員の授業力改善です。各教科とも授業をとおして、生徒に充実感・達成感を積み重ねさせることで、学力とともに自信(自己有用感)をつけさせたいと考えています。授業外においても、全校では朝学習、希望者を対象とした放課後学習教室、校長室前の自学スペースの開放にも取り組んでおり、意欲的に学習に励む生徒が多くいます。

さて、今年度の1学期に気仙沼市教委で行った学習に関するアンケートによると、本校の生徒は読書する時間が平均より大きく下回っていることが分かりました。学校でも、週3日の朝読書の時間(10分)を設けていますが、それだけになってしまっている生徒が多いようです。読書は学力向上につながるとよく言われていますが、それ以上に、見識を広めたり、様々な考え方・生き方に出合ったりすることができると思います。読書の習慣を大切にしていきたいものです。学校の図書室にも新作本が入っています。また、市の図書館から毎月、各教室と職員室に文庫が届けられています。ぜひ、興味のある本を手にとってみてほしいと思います。